

J R 東海労働関西地「申」第 9 号

2 0 1 9 年 9 月 9 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 松 寄 道 洋 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 畑 野 浩 孝

「新幹線車内への特大荷物置場の設置と事前予約制の導入」に関する申し入れ

8 月 29 日、マスコミ報道によると東海道・山陽・九州新幹線の車内に於いて「一定以上の大きさの荷物を持ち込む際は、今回設置する荷物置場を指定席とセットで予約したうえで乗車する事前予約制を導入する」「事前予約なく特大荷物を持ち込んだ場合は持ち込み手数料 1000 円が必要」とのことである。

新幹線車内業務の見直しにより現在、車掌長・列車長・専任社員への負担が増加している中、今回の会社プレス発表は現場で働く乗務員には寝耳に水であり、これ以上の車掌や JRCP 社員への労働強化は、乗客と乗務員の生命を守るには、安全上重大な問題である。

今回の施策導入に関し、労働組合への事前説明もなくプレス発表することは、労働組合軽視の姿勢であり到底看過出来ない。

よって下記の通り申し入れるので、早急に労使協議の場を設定すること。

記

1. 東海道・山陽・九州新幹線車内への特大荷物置場の設置と事前予約制の導入に至るまでの経緯を説明すること。
2. 特大荷物置場の設置箇所と事前予約制の導入の詳細を明らかにすること。
3. 実施時期は、2020 年 5 月中旬乗車分より導入するとのことであるが、詳細を明らかにすること。
4. 新幹線車内の後部座席妻側スペースの取り扱いについて、現行と導入後の変更点について明らかにすること。

5. 新幹線車内の後部座席妻側スペースの取り扱いについて、指定席と自由席の違いを明らかにすること。
6. 新幹線車内の後部座席妻側スペースの取り扱いについて、事前予約有りと無しの違いを明らかにすること。
7. 施策導入後の荷物管理は、誰が対応し管理するのか明らかにすること。
8. 施策導入後の車椅子の取り扱いについて明らかにすること。
9. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、車内に持ち込まれる大きな荷物は更に増加することが見込まれる。施策導入により、車内で対応できる乗務員(車掌・JRCP 社員)が不足すると考える。会社の考えを明らかにすること。
10. 現行の車掌の 2 名の乗組み体制での、2020 年 5 月施策導入は乗務員(車掌・JRCP 社員)の車内業務に支障をきたし、車内秩序が乱れると考える。会社の考えを明らかにすること。
11. 2020 年 5 月施策導入は、乗客・乗務員の安全が保たれない限り延期または中止すること。
12. 今回の施策導入は、車掌長・列車長・専任社員への責任が増大すると考える。これ以上の労働強化を許すことは出来ない。車掌長・列車長・専任社員への負担を軽減すること。
13. 後部座席妻側スペースの取り扱いについて、お客様同士のトラブルに発生することが予想される。トラブルになった場合の責任の所在を明らかにすること。
14. 今回の施策導入にあたり、現場で働く乗務員からは、不平と不満の声が多数上がってきている。会社は、現場の声を聴くべき場を設定すること。
15. 今回の施策導入にあたり、労働組合への説明がないのは組合軽視であり言語道断である。労働組合へ説明しない理由を明らかにすること。
16. 車掌の乗組み基準を 3 名にすること。

以上